

RACING OIL-COOLER KIT RD

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

ZN6/ZC6

BL⚡TZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

御願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：TOYOTA 86 / SUBARU BRZ
- 型 式：ZN6/ZC6
- エンジン：FA20
- 年 式：12/04-(ZN6) / 12/03-(ZC6)
- 製品名称：BLITZ RACING OIL COOLER KIT RD
- 製品番号：10275
- 取説 No.：002

注) 適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話または FAX にて下記宛にお願いします。

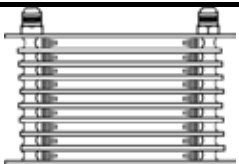
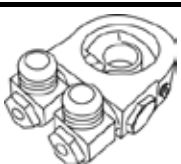
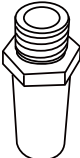

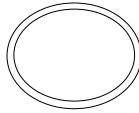
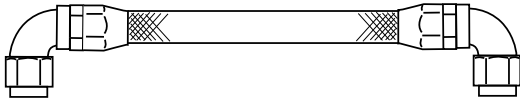
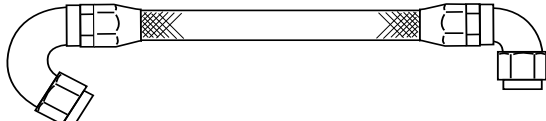
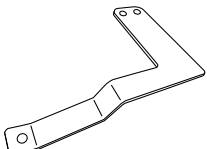
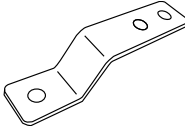
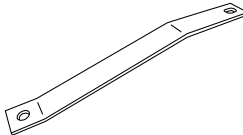
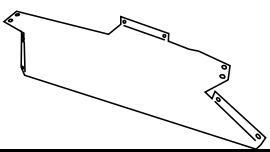
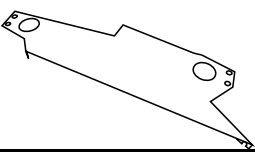

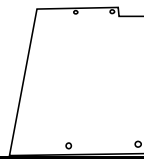
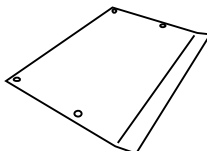
- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。作業前に、作業手順、必要部品を十分確認の上、不足部品等が無いよう準備を行ってから作業を開始して下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ラジエター、スロットル、インタークーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関する保証は致しかねます。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分にを行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ず点検を行なって下さい。
- 異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、アタッチメント、フィルター、エンジンブロックには封をする等、異物が入らないよう注意して下さい。
- オイルフィルターは再使用せず、新品を使用することをお勧めします。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行してください。

■パーツリスト■							
コア本体 TYPE-E		オイルブロックASSY					
	1		1				
センターボルト		ハイトアジャスター		O リング			
	1		1		1		
クーラーホースNo.1 (L=1150mm)				クーラーホースNo.2 (L=1900mm)			
	1				1		
ステーNo.1		ステーNo.2		ステーNo.3			
	1		1		1		
エアガイドNo.1		エアガイドNo.2		エアガイドNo.3		エアガイドNo.4	
	1		1		1		1
エアガイドNo.5							
	1						
フランジボルトM6×20	2	フランジボルトM6×16	10				
フランジナットM6	11	ワッシャーφ20	2	ワッシャーφ16	14		
ボタンボルトM5×8	11	フランジナットM5	11	タイラップ		コルゲートチューブ	

□仕様□

- BLITZ OIL COOLER KIT は、オイルブロックをオイルフィルターで挟んで固定するタイプのオイルクーラーです。オイルブロックにはサーモスタッドを内蔵し、設定温度以上になるとコアへオイルを誘導します。設定温度以下になるとコアをバイパスさせエンジンへオイルを誘導します。周囲には PRESS 及び TEMP センサー取り付け用の穴が設けられています。
- 新開発のバンジョウタイプ自在ユニオンを採用し（一部車種）、ホースの取り出し向きの自由度が向上しています。
- 新開発のフィッティングを採用し、オイル漏れに対して大幅に信頼性を向上させています。
- ホースは車種に合わせ最適な長さにカットされ、フィッティングがセットされています。キット取り付け時にフィッティング組み付け等の面倒な作業はありません。

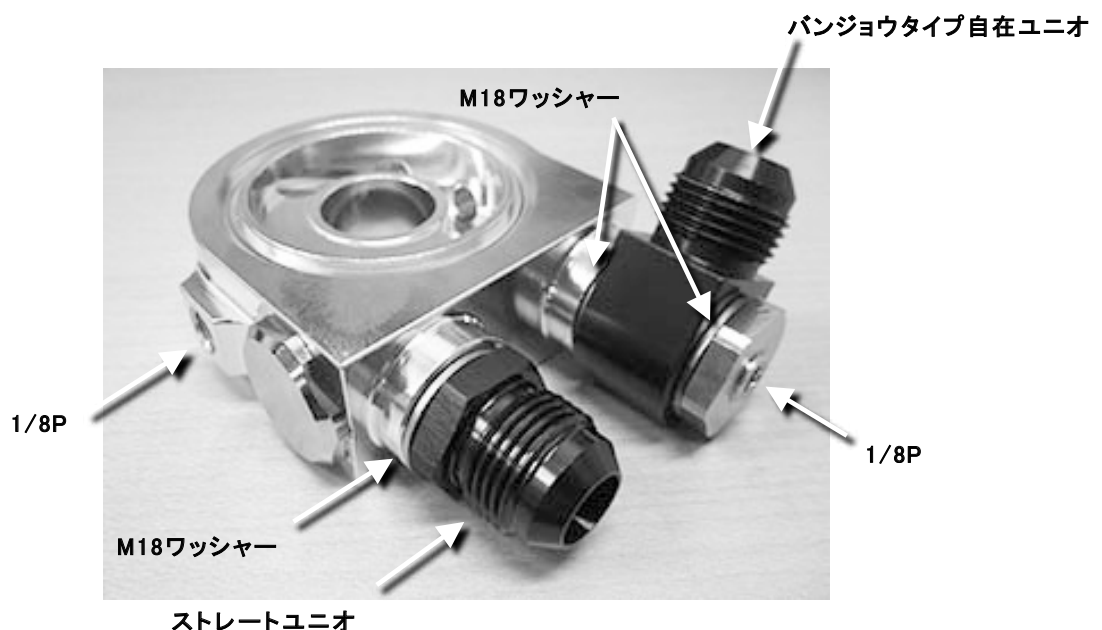
●サーモスタッド作動温度：70℃～85℃±3℃

●センサー取り付け穴：

1/8PT（弊社 PRESS/TEMP センサーの取り付けが可能です。）

※車種により周囲のスペースが確保できない為、センサーの取り付けが出来ない場合もあります。

※車種によりキットに付属されるユニオンの種類が異なります。



□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い。

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

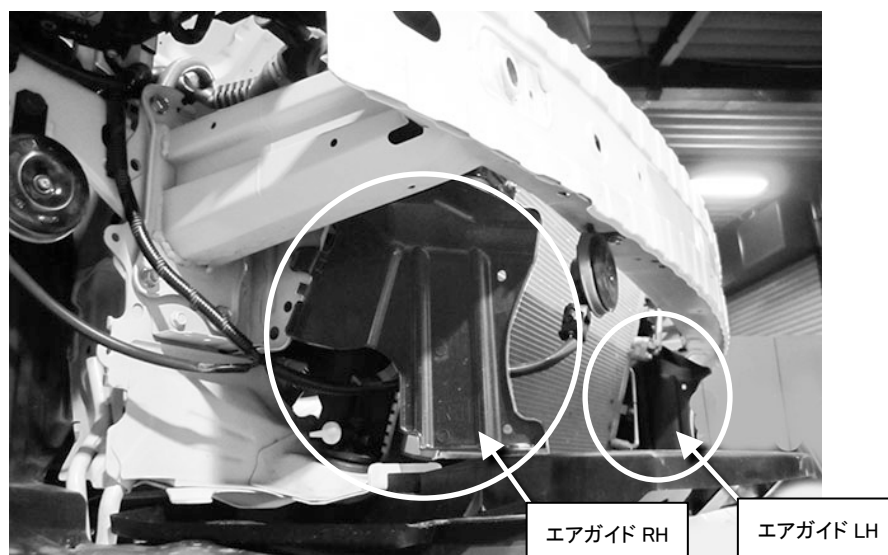
★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

□ノーマルパーツの取り外し□

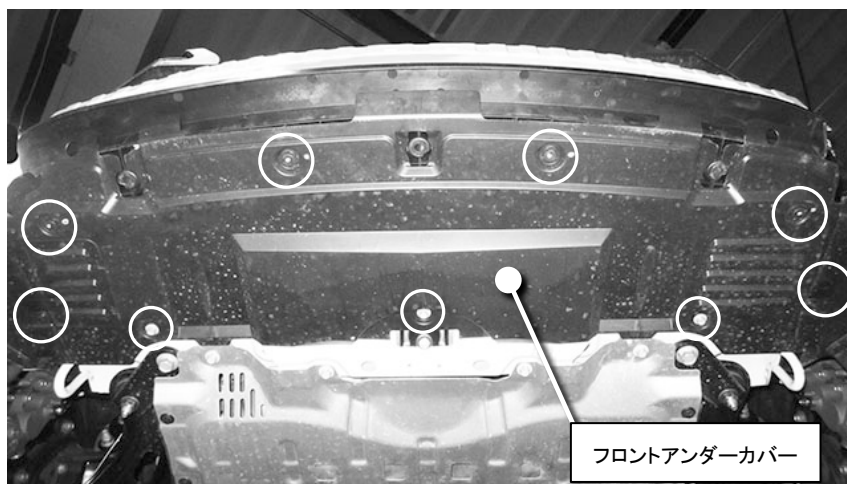
- ①バッテリーの（－）端子を取り外して下さい。
- ②エンジンオイルを抜き取り、オイルフィルターを取り外して下さい。
- ③フロントバンパーを取り外します。
※純正部品は、整備要領書等を参考に作業を行って下さい。
※必要に応じて取り外した部品にマーキングを行いながら作業を行って下さい。
- ④エアクリーナードクト及び、エアガイドを取り外します。



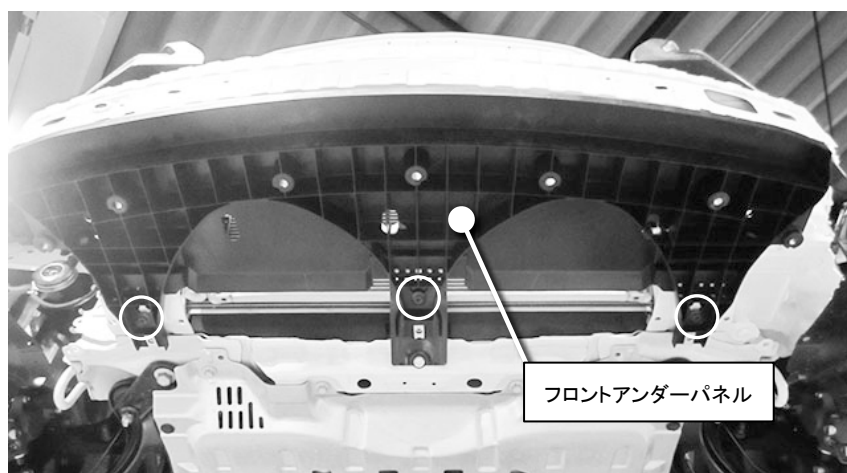
- ⑤左右のエアガイドを取り外します。



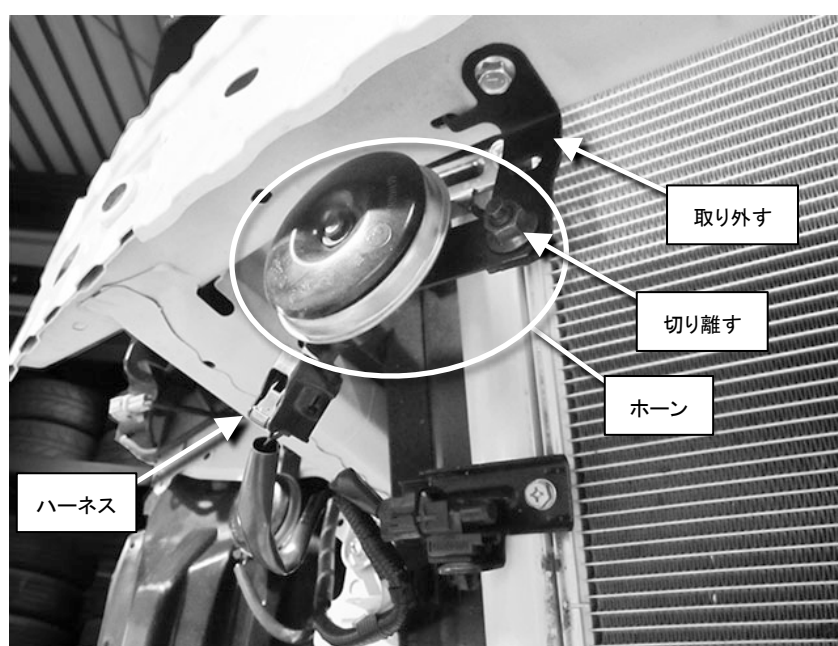
⑥フロントアンダーカバーを取り外します。



⑦フロントアンダーパネルを取り外します。



⑧ホーンへ接続されているハーネスを切り離し、ホーンをステアから切り離します。車両に残ったステアは使用しません、車両から取り外しておきます。

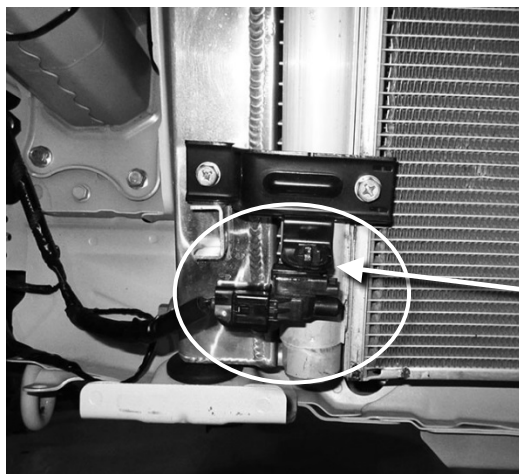


⑨ホーンを移設します。図中○印部分へ付属のボルト M6×16、M6 ナットを使用して固定します。もう一方のホーンを横方向へずらしておきます。

※ホーン用ハーネスは結束しているテープを剥いて、ハーネスが届く様に取り出し、接続してください。テープを剥いた部分は再度ビニールテープ等で絶縁してください。



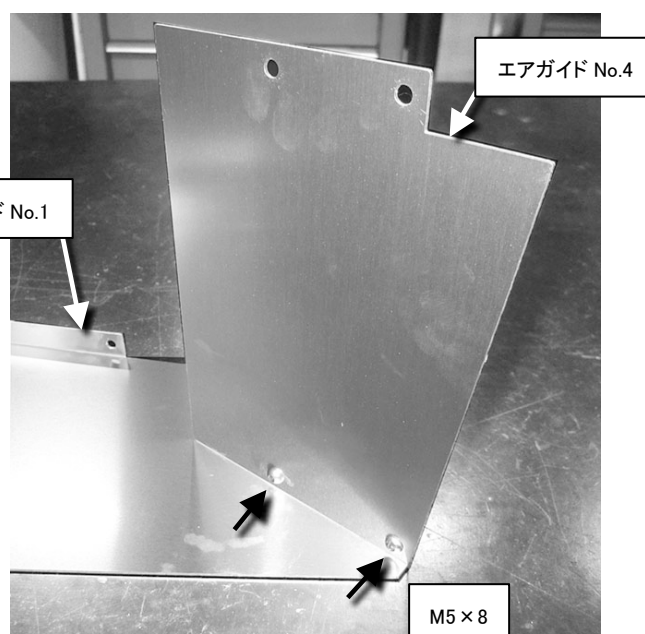
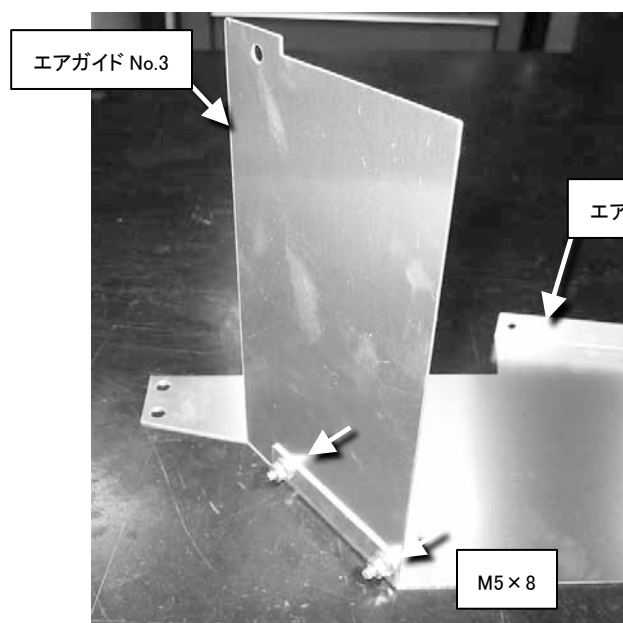
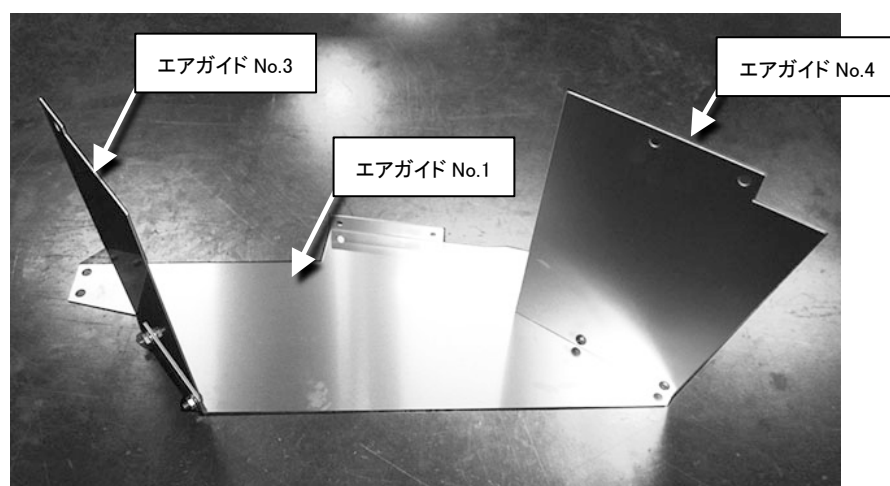
⑩吸気温度センサを以下の画像の様にステーの下側から挿し込むように付け直します。



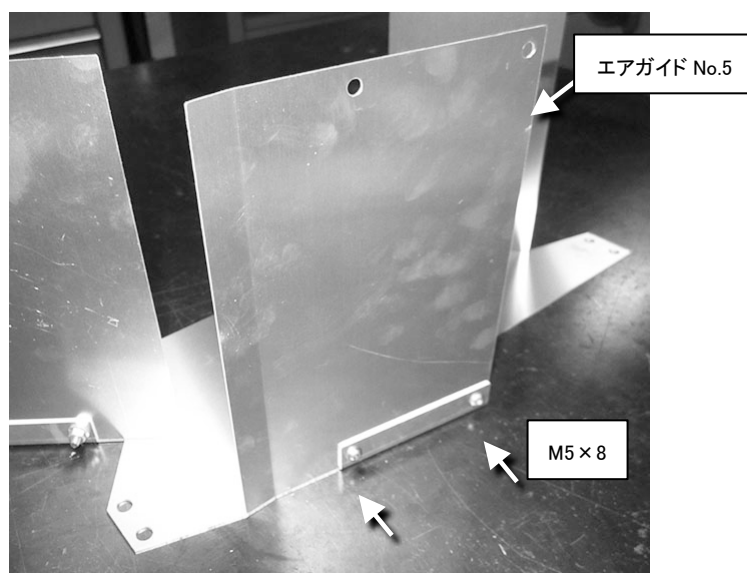
下側から挿し直します

ロキットの取り付け口

- ①コアとエアガイド、ステーを組み立てていきます。
エアガイド No.1 へエアガイド No.3 及び No.4 を取り付けます。
付属のボタンボルト M5×8 及び M5 ナットでガイド同士を留めます。

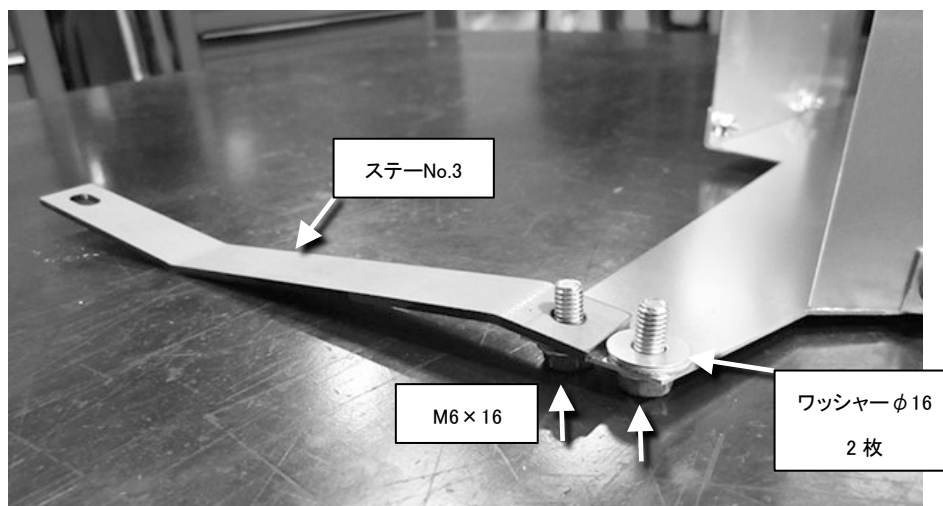


- ②エアガイド No.1 へエアガイド No.5 を取り付けます。



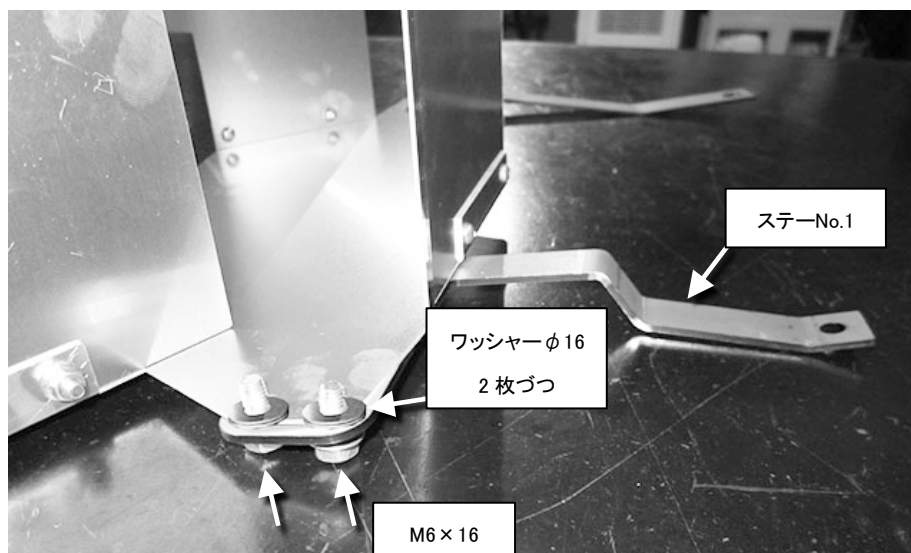
③ステーNo.3を仮留めします。

エアガイド No.1 の下側から付属のボルト M6×16 を2本通します。
片側には、ワッシャーφ16を2枚、片側にはステーNo.3を通します。



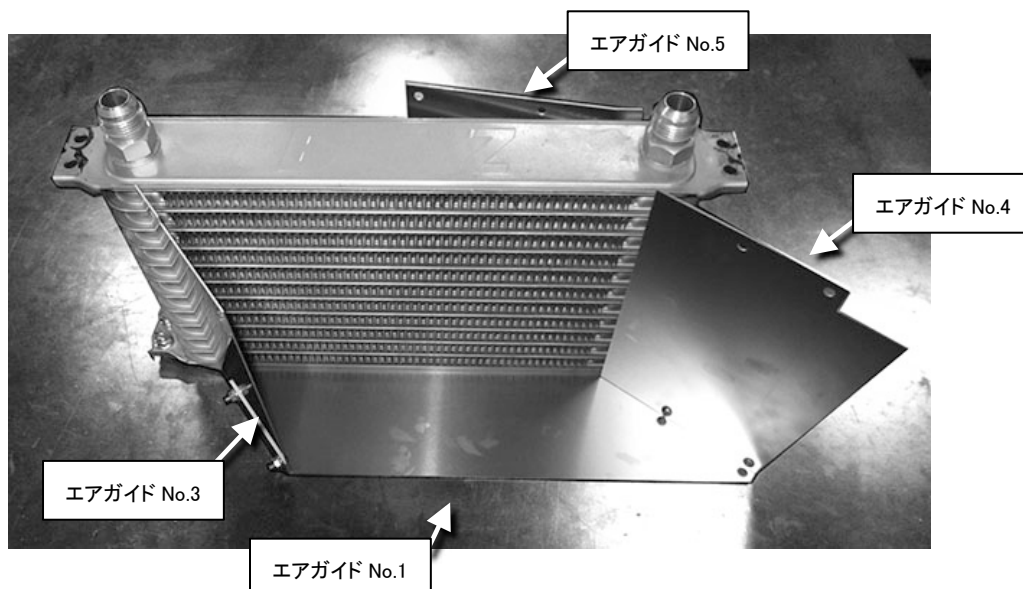
④ステーNo.1を仮留めします。

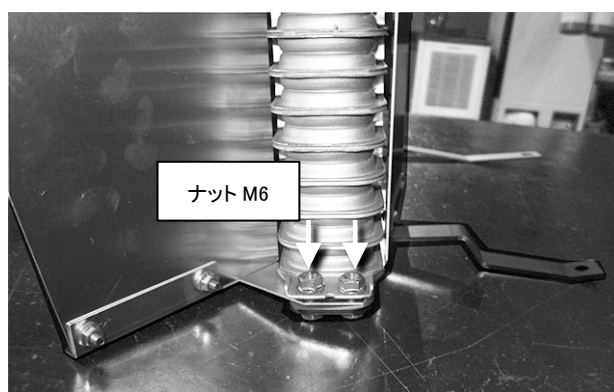
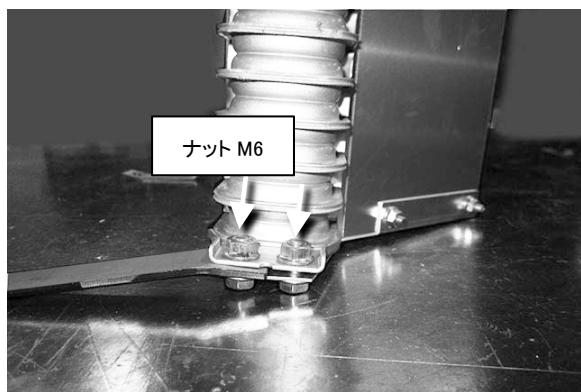
エアガイド No.1 の下側から付属のボルト M6×16 を2本通します。
ボルトには、ステー、ガイドの順に通し、最後にワッシャーφ16を2枚ずつ通します。



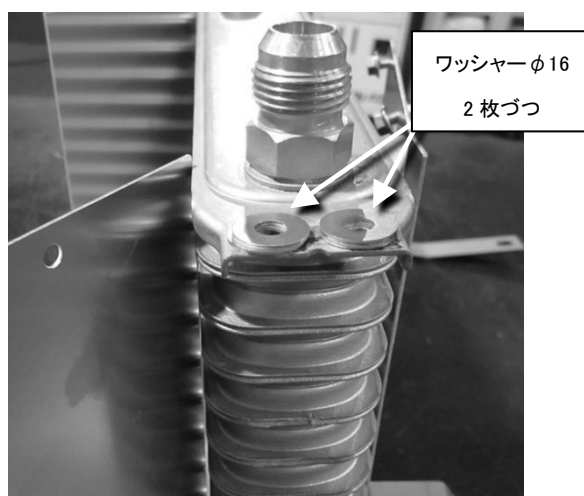
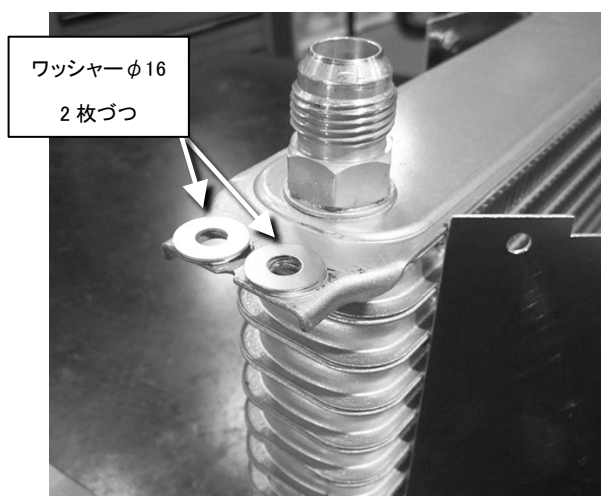
⑤コア本体を仮留めします。

付属のナット M6 を使用します。

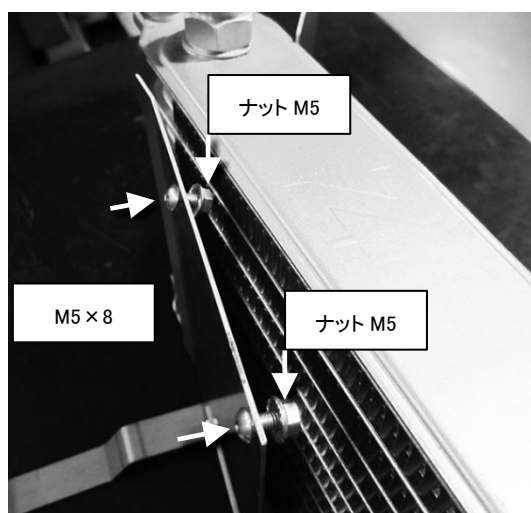




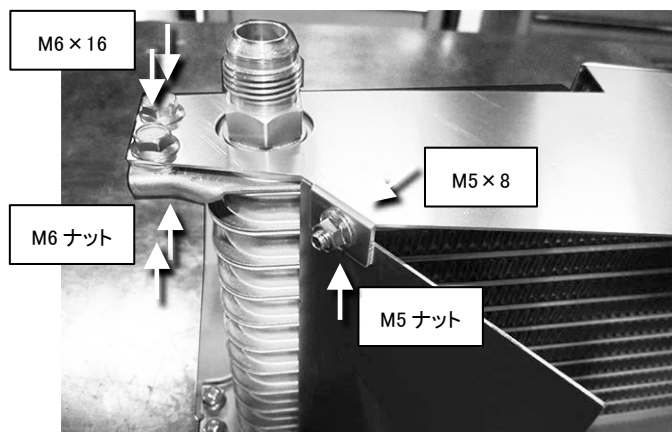
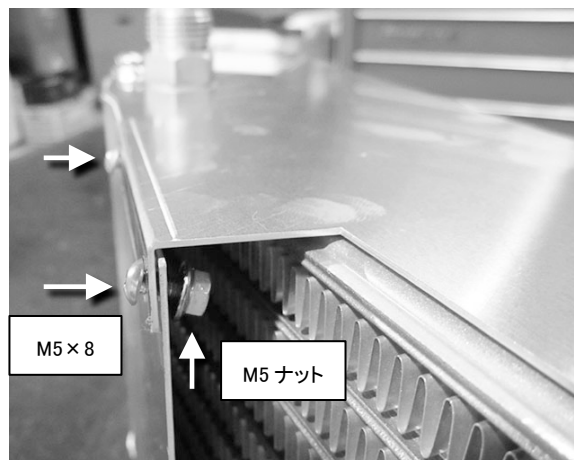
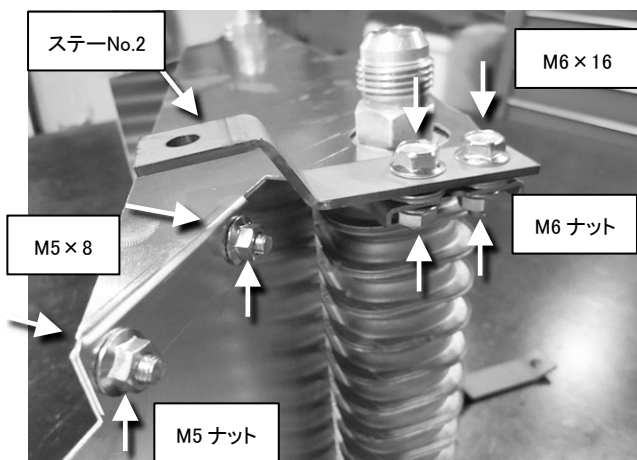
⑥コア本体の上側左右へワッシャーφ16を2枚ずつ置いておきます。



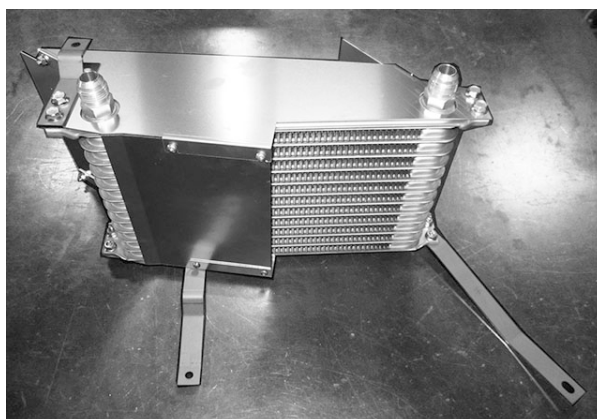
⑦エアガイド No.5 へあらかじめボタンボルト M5×8 と M5 ナットを通しておきます。



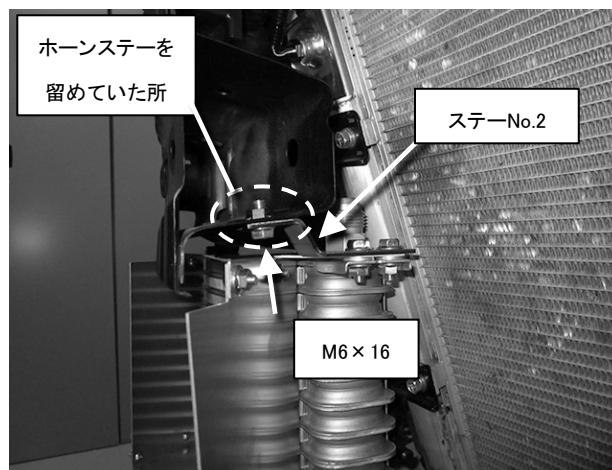
- ⑧エアガイド No.2 を取り付けます。
コア本体に上から被せる様に取り付けます。
同時にステーNo.2 を共締めします。
各エアガイド同士は付属のボタンボルト M5×8 及び M5 ナットで固定します。



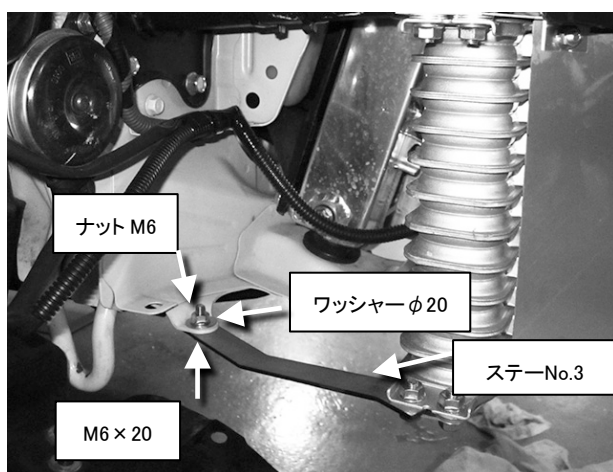
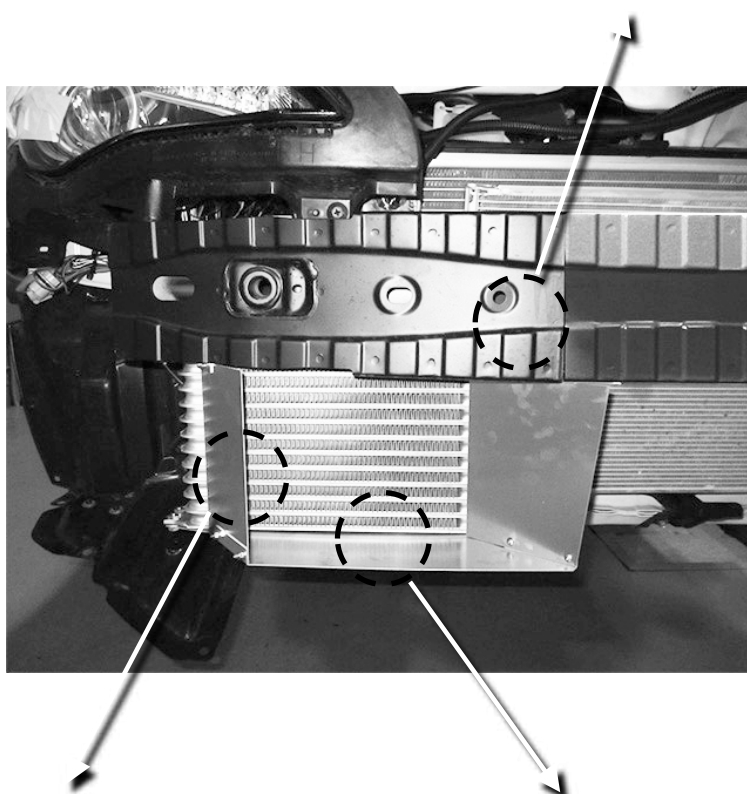
- ⑨以上でエアガイド及び、ステーの組み立ては終了です。



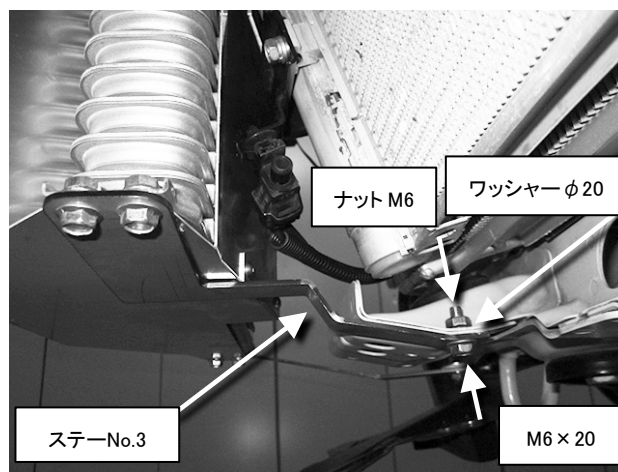
- ⑩組み立てたコア ASSY を車両へ仮付けします。
 ※各部のネジは仮留めにしておきます。
 ※画像は分かり易い様車両を加工しています。



ステアNo.2 取付位置

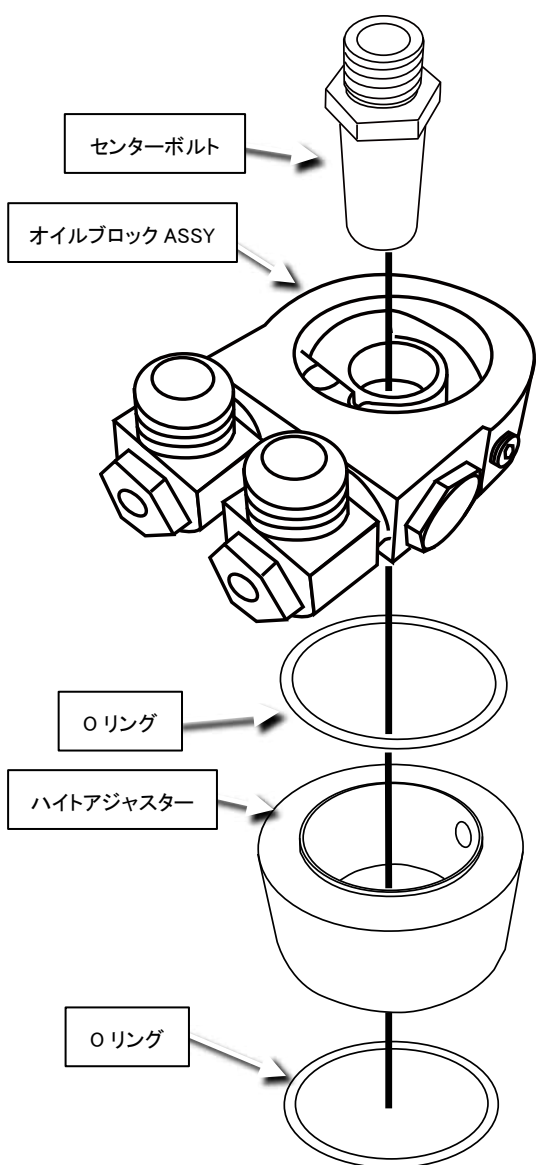


ステアNo.3 取付位置

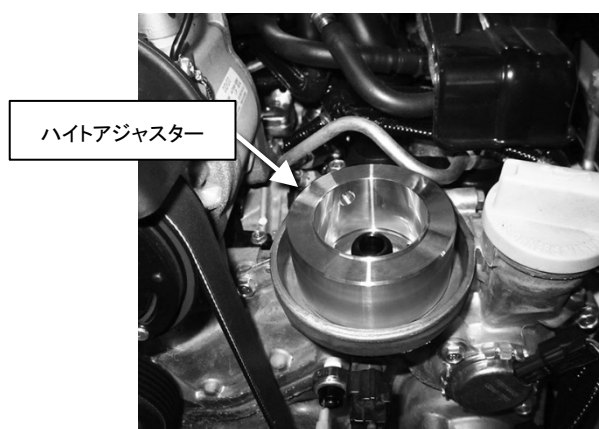
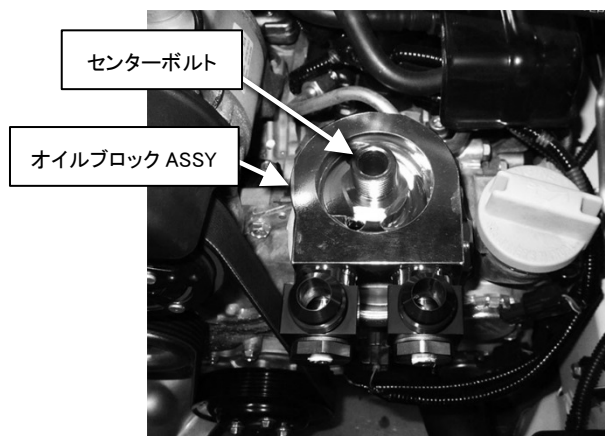
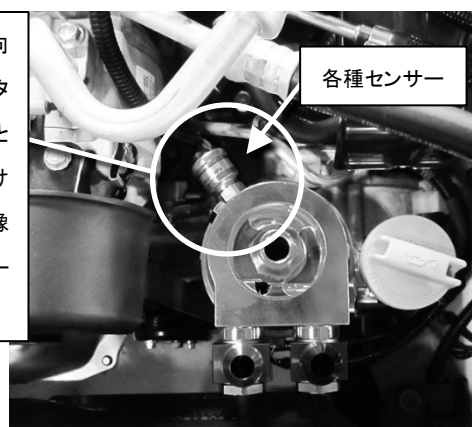


ステアNo.1 取付位置

- ⑪ オイルブロック及び、ハイトアジャスターを付属のセンターボルトを使用して取り付けます。
 下記イラストの順に取り付けます。
 ※オイルブロック溝部へ付属の O リングを取り付けて下さい。(少量のオイルを塗布します)
 ※取り付ける前に各センサープラグ及びサーモスタッドが締まっているかを確認して下さい。
 1/8PT ネジ部は締めすぎに注意してください。各種センサーを取り付ける場合は、ここで取り付けます。任意の場所の PT プラグを外し、取り付けます。必ずシールテープ等でシールを行って下さい。
 ※ハイトアジャスター部分にも 1 か所 1/8PT ネジが切られています。ここにもセンサーの取り付けが可能です。
 ※センターボルトの締めすぎに注意して下さい。
 ※各 O リングが溝部にしっかりと収まっている事を確認しながら作業を行って下さい。



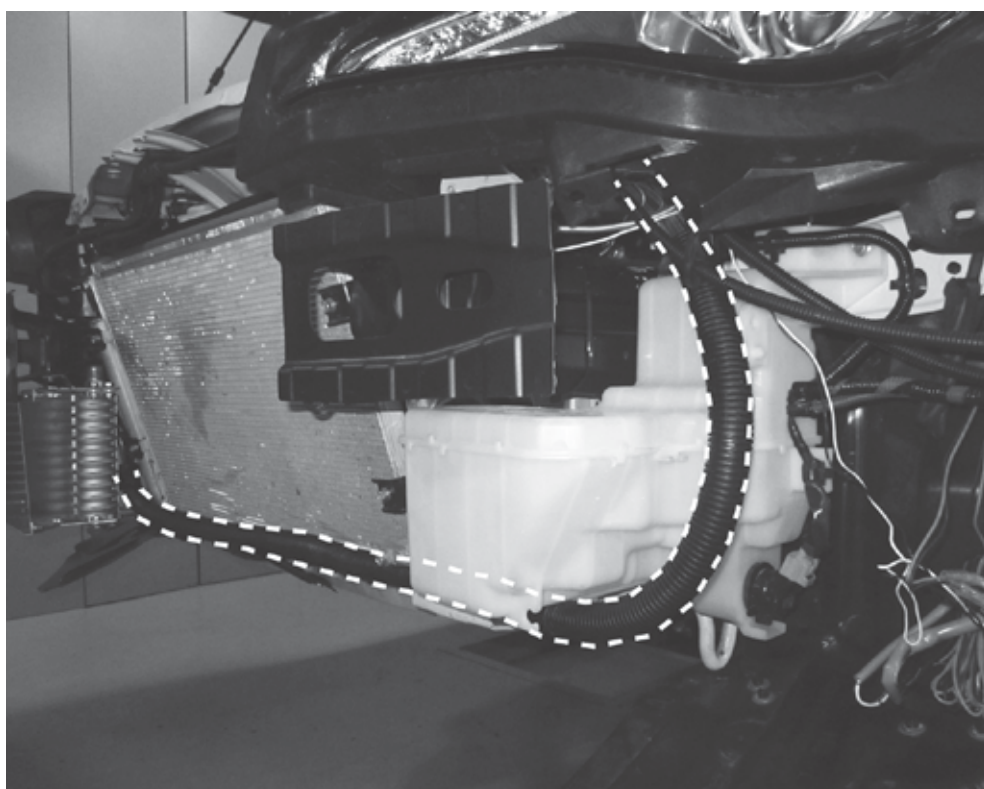
この方向にセンサーが向くようにハイトアジャスターを回し、調整しておくことでセンサーの取り付けが容易になります。画像は弊社PRESSセンサーを装着しています。



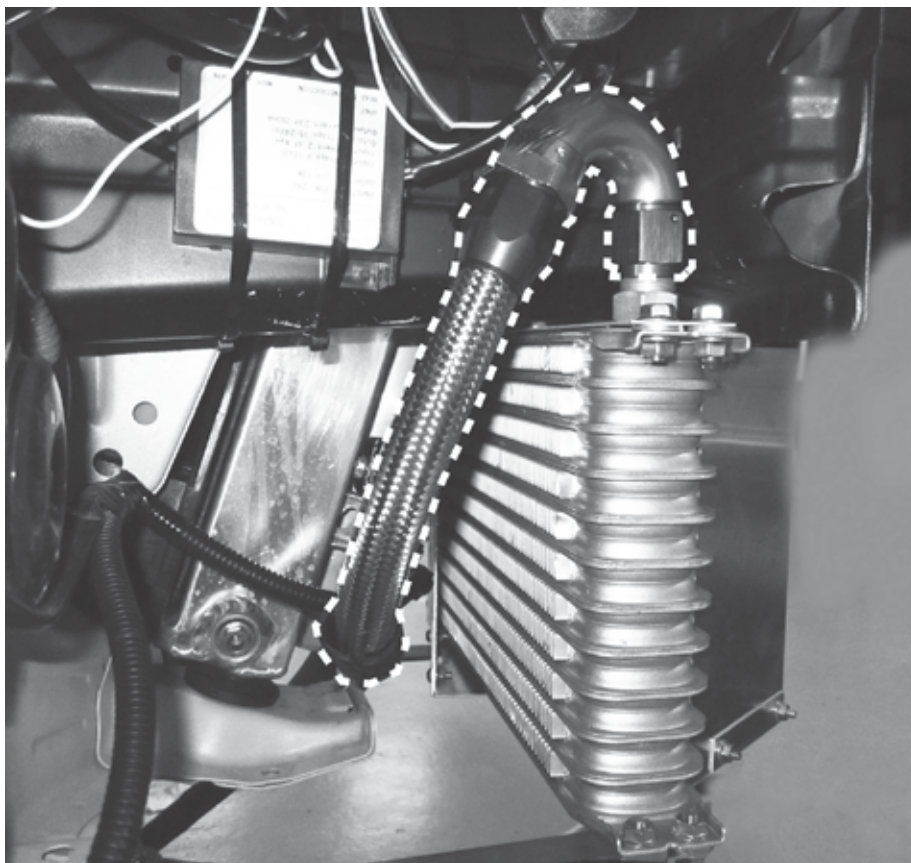
- ⑫オイルブロックへクーラーホース No.2 90° フィッティング側を取り付けます。
※仮留めにしておきます。
※取り付け前にクーラーホース内部を洗浄し、異物が無い事を確認します。



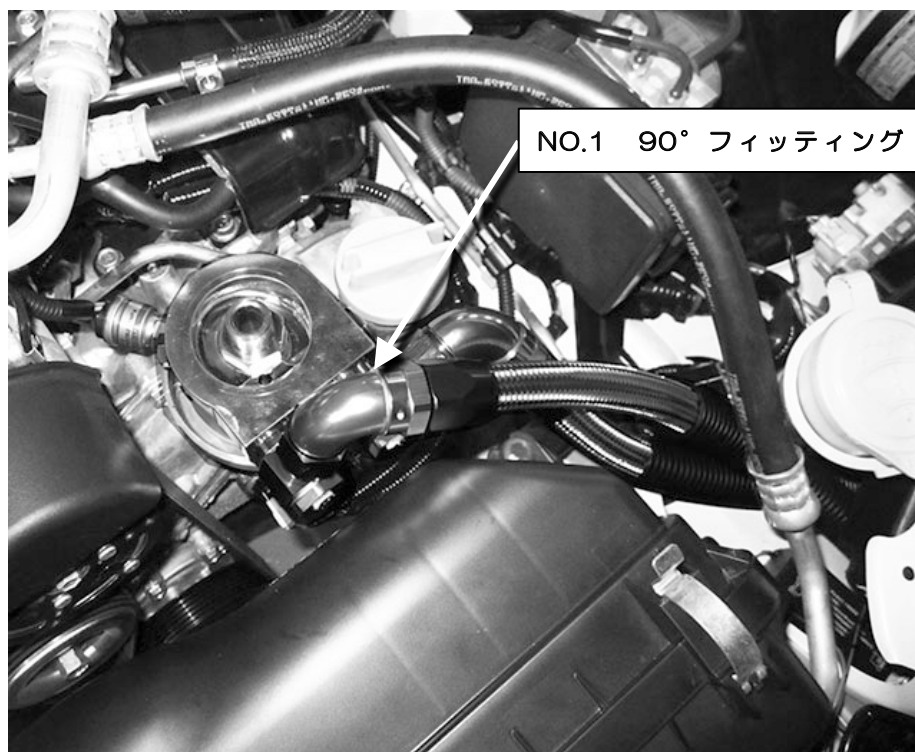
- ⑬クーラーホースをウォッシャータンク下から通します。



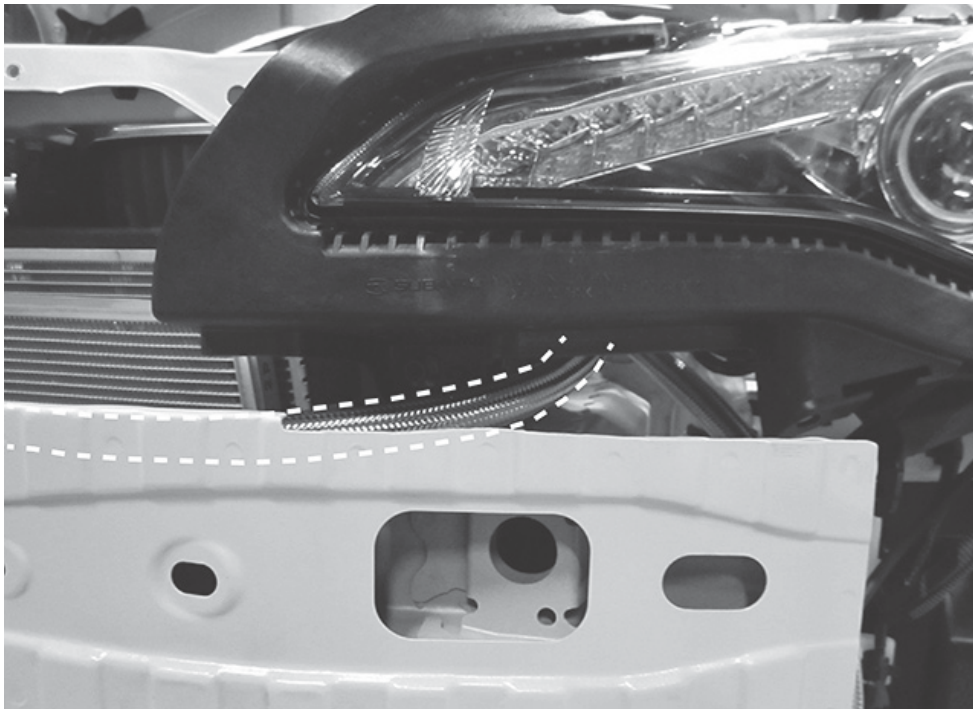
⑭クーラーホースをコアへ接続します。



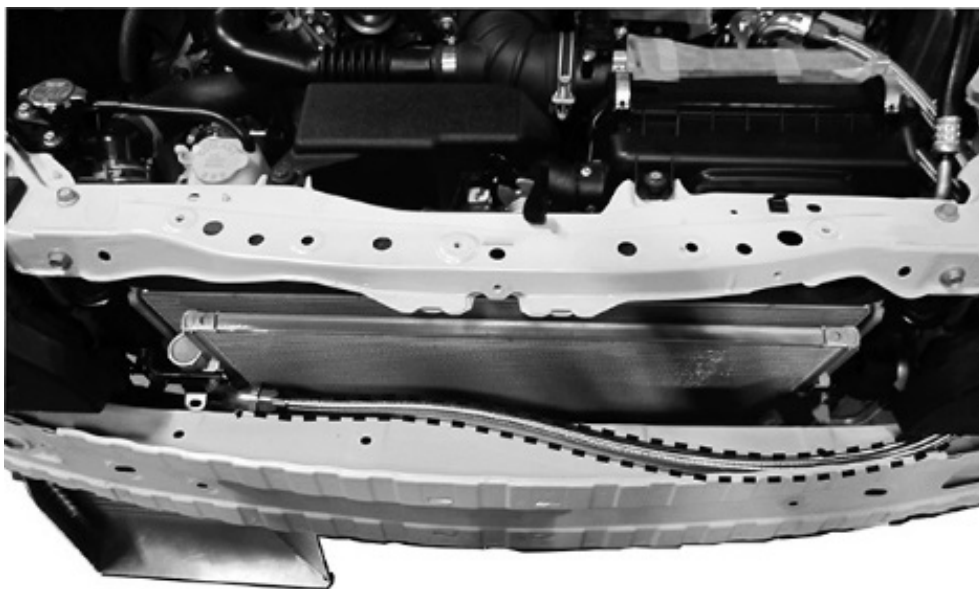
⑮オイルブロックへクーラーホース No.1 を取り付けます。
どちら側のフィッティングを接続しても構いません。
※仮留めにしておきます。
※取り付け前にクーラーホース内部を洗浄し、異物が無い事を確認します。



⑩ヘッドライトとレインホースメントの間を通します。



⑪クーラーホースをコアへ接続します。



- ⑮稼動部分等に干渉が無いようフィッティングの位置を調整して、センターボルト、自在ユニオン、フィッティングを本締めします。

※コア本体部分のフィッティング周囲にあまりスペースがありません。車上にて締め付けが困難な場合は、フィッティングの角度をマーキングし、コア ASSY を一旦車両より取り外し、フィッティングを締め付けてから車両へ戻すと作業が可能です。

※ボディーへ干渉する部分へは付属のコルゲートチューブを巻いて下さい。

※タイラップでホースをまとめて、周囲の適当な所へ留めて下さい。

- ⑯オイルフィルターを取り付けます。

- ⑰バッテリーの（－）端子を接続します。

- ⑱バンパーを取り付ける前に、漏れ点検を行います。

エンジンオイルを入れ、エンジン始動前にクランキングを行い、オイルをコアまで十分に循環させて下さい。また、エンジンの始動前には下記項目を点検して下さい。

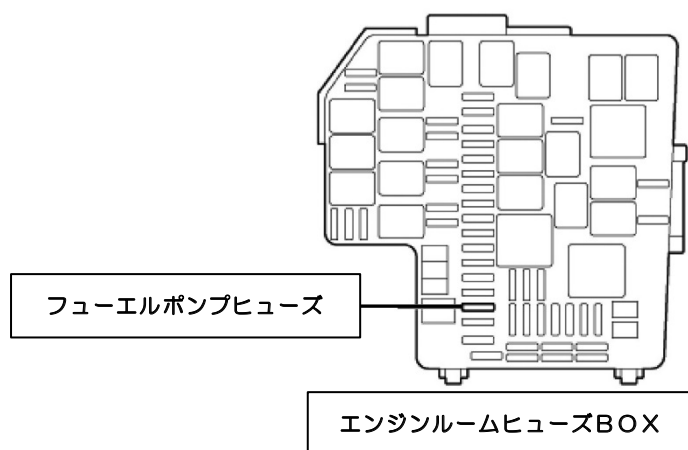
※クランキングは下図のフューエルポンプヒューズを抜いて行います。

☐ エンジンオイルがレベルゲージ内にあるか。

☐ ホースが他の部品に干渉していないか。

☐ オイル漏れは無いかな。

☐ 各部に締め忘れは無いかな。

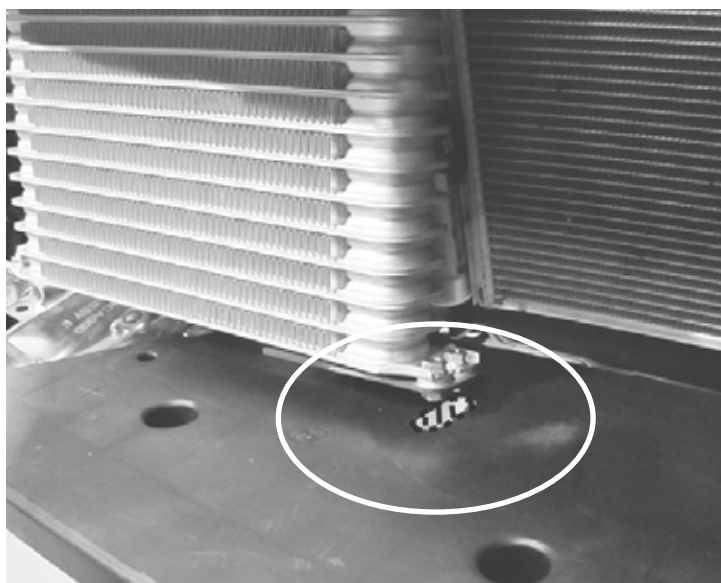


ポンプフューズを戻し、エンジンを始動します。各部に漏れが無いかな点検を行って下さい。

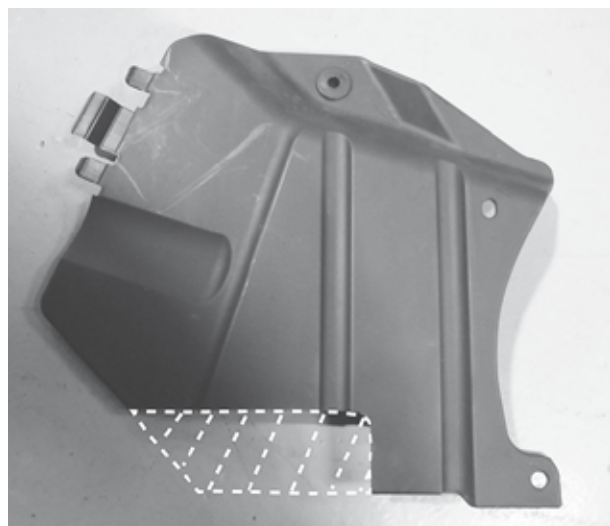
※エンジンの回転数を上げて、十分に油圧が掛かる状態で漏れが無いかな確認を行って下さい。

- ⑳オイル漏れや、干渉が無く問題が無ければ、フロントアンダーパネル、フロントアンダーカバー、エアガイド LH、エアガイド、エアクリーナーダクトを順に取り付け、フロントバンパーを取り付けて下さい。

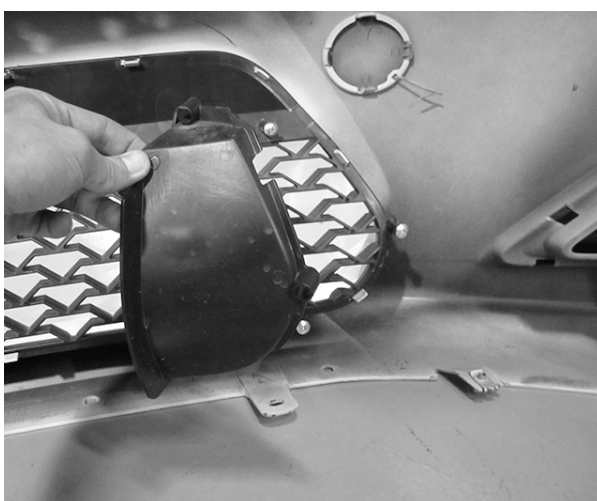
※フロントアンダーパネルを取り付ける際、ステーNo.2 とコアの固定ボルトが干渉する所があります。下図の斜線部分に穴を開け、逃げ加工を行います。



※エアガイド LH を取り付ける際、ホースが通る部分をカット加工します。
下図を参考に斜線部分をカットします。



※車両が 86 の場合には、バンパー裏、運転席側のカバーを取り外します。



バンパー、サイドウィンカー等、取り外した時と逆の手順で取り付けます。
以上でキット取り付け作業は終了です。

□注意□

- 走行前には必ずオイル漏れがないかを再度点検をして下さい。
- 走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、点検を行なって下さい。
- 装着後も、定期的に緩みや干渉が無いか確認を行って下さい。

BL⚡TZ